



# 日刊 労働千葉

国鉄千葉労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (労働車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番  
(公) 043(222)7207番

96.11.28 No.4508.

## JR貨物新フレイト21を提案

# 5年間で鉄道部門6000人体制

年末手当の格差回復運動

JR貨物は、一一月二六日年  
末手当二・五五カ月の回答を行  
つた。これは昨年より〇・〇五  
カ月少ない史上最低の水準であ  
り、JR東日本とは実に〇・六  
カ月もの格差となつた。貨物会  
社と旅客会社のベ・アや期末手  
当の格差はますます拡がるばかり  
である。さらに貨物会社は、  
フレイト二一の早期退職制度を  
もつて労働者の削減・首切りに  
つきすすんでいる。こうした労  
働者への犠牲の転嫁を許さず闘  
いぬこ。

### 新フレイト21十面

### 鉄道部門六千人に

一一月一九日貨物会社は、「  
新フレイト二一（以下新計画と  
略）」を各組合に提示した。  
これは九四年一一月に策定し  
た「フレイト二一」がわずか二  
年で「計画と実績との間に大き  
なかい離を生じ」、さらにこの  
三年赤字が続き拡大しているこ

と、これがひいては分割・民営  
化そのものの破綻に直結するこ  
とから、より一層の合理化計画  
を策定することに貨物会社はせ  
まられていく。そして運輸大臣の  
私的諮問機関である「JR  
貨物の完全民営化のための基本  
問題懇談会」の第二回会合が一  
月二〇日開かれることから、  
そこへの貨物会社の考え方を提  
示するために、この「新計画」  
が策定され公表された。

このように「新計画」は、單  
に貨物会社のみならず政府・運  
輸省を含めた分割・民営化の枠  
組みそのものを問い合わせる意  
味が含まれている。分割・民営化時  
点で貨物問題に対するまともな  
議論がおこなわれずに一〇年間  
放置されてきたツケがここで一  
気に噴き出しているといつても  
過言ではない。同時に「平成九  
年度問題」の焦点が国鉄清算事  
業団と貨物会社に絞られてきた  
ことは、この二つがいまだに膨  
大な資産価値のある土地を多く  
かかえていることをみても、資  
産の争奪戦の対象としての意味  
があること示している。貨物会  
社はすでに土地売却を本格的に  
開始し、現業機関のある土地す

ら売却したという。早期退職制  
度の退職金は土地の売却でまか  
なうことが始まっている。

また貨物会社の株式は広くオ  
ープンな形で売り出す「株上場  
」ではなく「株放出」で行うこ  
とを運輸省は計画している。こ  
のように赤字を口実に労働者に

「新計画」はより一層の合理化  
で人べらしと売却対象資産の生  
み出しという二つの目的の推進  
のためにつくられたと言つても  
過言ではない。

貨物問題を全力で闘おう

貨物問題は、分割・民営化の  
矛盾が最も集中しているが故に  
、これから大きな正念場を迎  
える。貨物職場の組合員をはじめ  
全組合員の闘いとして闘おう。  
貨物会社は、二八日に九七・  
三ダイ改の本社提案が行われる  
。いよいよ来年三月ダイ改との  
闘いが本格的に開始される。「  
による一切の合理化を許さず  
、九七・三ダイ改合理化阻止へ  
貨物職場を先頭に全力で闘いに  
たちあがろう！」

90・3スト損賠公判

12月4日 10時から 千葉地裁

12月13日 10時30分から 千葉地裁

首切りと、資産の争奪戦とい  
う分割・民営化と同じ構図が再び  
繰り返へされようとしている。

「新計画」はより一層の合理化  
で人べらしと売却対象資産の生  
み出しという二つの目的の推進  
のためにつくられたと言つても  
過言ではない。